

## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 アルファグループ株式会社  
 コード番号 3322 URL <http://www.alpha-grp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 吉岡 伸一郎  
 (氏名) 松浦 孝暢  
 TEL 03-5469-7300

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,210	10.1	357	134.0	472	116.8	341	219.0
2019年3月期第2四半期	10,181	3.1	152	37.8	218	80.6	107	169.3

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 341百万円 (219.0%) 2019年3月期第2四半期 107百万円 (169.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	120.99	120.96
2019年3月期第2四半期	37.93	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	8,914	4,135	46.3	1,459.10
2019年3月期	9,333	3,833	41.0	1,353.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,123百万円 2019年3月期 3,824百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		15.00	15.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,062	3.3	381	12.1	576	15.7	557	273.8	197.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	3,481,200 株	2019年3月期	3,481,200 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	654,883 株	2019年3月期	654,883 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,826,317 株	2019年3月期2Q	2,826,317 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般的概況

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)における我が国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いている一方で、米中貿易摩擦の長期化による世界経済の減速や自然災害の影響等により景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループは、三本目の柱である環境商材事業を、モバイル事業、オフィスサプライ事業に並ぶ当社を支える強固な収益基盤へと育て上げるべく事業運営に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高112億10百万円(前年同四半期比10.1%増)、営業利益3億57百万円(前年同四半期比134.0%増)、経常利益4億72百万円(前年同四半期比116.8%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益3億41百万円(前年同四半期比219.0%増)となりました。

## ② セグメント情報

## &lt;モバイル事業&gt;

モバイル事業におきましては、2019年10月施行の改正電気通信事業法に対応した新料金プランを各通信事業者が打ち出していることや新たな通信事業者が参入予定であること、またこの数年でMVNO(仮想移動体通信事業者)端末の普及がさらに進み、顧客の通信端末利用環境がより多様化していることなどから、市場におけるサービス競争は新たな局面を迎えております。

各通信事業者における長期利用顧客の維持・拡大を企図した施策を受けて買い控えが生じる一方で、消費税増税や新料金プラン導入前の駆け込み需要等の影響もあり、販売台数は変動いたしました。そのため、通信端末のみならず通信事業者が展開する各種商材についてもこれまで以上に積極的に展開していくなどの取り組みに注力いたしました。なお、スマートフォンアクセサリ専門ショップにつきましては、2019年10月10日に開示いたしましたとおり、11月1日付けでこれを主管していた当社連結子会社の全株式を譲渡し、事業運営から撤退いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は72億22百万円(前年同四半期比5.6%増)、営業利益1億14百万円(前年同四半期比373.3%増)となりました。

## &lt;オフィスサプライ事業&gt;

オフィスサプライ事業におきましては、二拠点体制となった当社保有のコールセンターの活用により「カウネット」の新規顧客獲得と既存登録顧客への継続利用の促進を行うなどの取り組みに注力すると共に、グループ内でのシナジーを図って、環境商材事業における新規顧客獲得などにも取り組みました。また、株式会社カウネットが提供する間接材一括購入システムである「べんりねっと」の導入提案を、従業員数が500名を超える規模の法人顧客に向けて積極的に進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31億30百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益1億33百万円(前年同四半期比12.6%減)となりました。

## &lt;環境商材事業&gt;

環境商材事業におきましては、LED照明機器の販売・レンタルを主軸に、電力の小売やウォーターサーバーで使用するウォーターパックの販売、保有ソーラーパークを活用した太陽光発電などを展開しております。

LED照明機器の販売・レンタルにおきましては、LED照明機器への置き換えが一段落するまでに、病院や公共団体の施設等に対して積極的に導入の提案を行っております。契約時点において費用が発生することになるレンタルというスキームに特に注力した結果、当社グループ全体への収益貢献という段階にはまだ至っておりませんが、医療法人を中心とする広範な顧客基盤がこれまでの営業活動の結果として確立できました。今後は、先行投資の回収へと移行すると共に、この顧客基盤を活用してLED照明機器のみならず職場環境等の改善に資するような各種商材を展開してまいります。

電力の小売におきましては、一般家庭や商店などを対象とする低圧区分まで自由化の動きが広がり、電力の小売が完全に自由化されたことを受けて、2018年7月より当社グループにおきましても「アルファ電力」の提供を開始いたしました。特に低圧で受電する法人顧客をターゲットに営業活動を展開しております。

ウォーターパックの販売におきましては、新規の利用顧客の獲得といった活動は行っていないものの、既存顧客の継続的な購入により、堅調に収益を確保しております。また、太陽光発電におきましても、新たな投資を控えて売電収入の確保に注力しております。これら2つの商材においては、投資に対して最小限の費用で継続収益を確保するというビジネスモデルを確立しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8億64百万円(前年同四半期比189.5%増)、営業利益1億8百万円(前年同四半期は営業損失24百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は89億14百万円で、前連結会計年度末に比べ4億18百万円の減少となりました。主な増加は、現金及び預金の増加6億30百万円等であり、主な減少は、商品の減少4億83百万円、顧客関連資産の減少82百万円等であります。

負債は47億79百万円で、前連結会計年度末に比べ7億20百万円の減少となりました。主な増加は、一年以内返済予定長期借入金58百万円等であり、主な減少は、短期借入金の減少4億円、工事負担引当金の減少1億35百万円等であります。

純資産は41億35百万円で、前連結会計年度末に比べ3億1百万円の増加となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加3億41百万円、新株予約権の増加2百万円であり、主な減少は、配当金の支払42百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想につきましては、2019年11月6日公表の業績予想から修正はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,123,918	2,754,530
売掛金	1,334,416	1,311,907
リース債権及びリース投資資産	43,706	304,643
商品	1,343,975	860,432
貯蔵品	603	643
その他	1,318,630	1,023,819
貸倒引当金	△2,666	△2,680
流動資産合計	6,162,584	6,253,296
固定資産		
有形固定資産		
土地	153,126	153,126
その他	996,476	973,383
有形固定資産合計	1,149,603	1,126,509
無形固定資産		
顧客関連資産	504,925	422,796
その他	14,080	28,351
無形固定資産合計	519,006	451,148
投資その他の資産		
差入保証金	805,396	828,200
その他	911,879	448,091
貸倒引当金	△215,154	△192,469
投資その他の資産合計	1,502,121	1,083,822
固定資産合計	3,170,730	2,661,480
資産合計	9,333,315	8,914,776
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,210,444	1,212,403
短期借入金	1,050,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	631,210	689,332
未払法人税等	165,861	117,123
賞与引当金	27,268	24,147
その他	770,726	548,621
流動負債合計	3,855,510	3,241,627
固定負債		
長期借入金	1,270,216	1,300,393
工事負担引当金	135,000	—
役員退職慰労引当金	66,374	67,724
その他	172,227	169,443
固定負債合計	1,643,818	1,537,560
負債合計	5,499,328	4,779,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	728,734	728,734
資本剰余金	688,336	688,336
利益剰余金	3,292,382	3,591,952
自己株式	△885,139	△885,139
株主資本合計	3,824,314	4,123,884
新株予約権	9,672	11,703
純資産合計	3,833,986	4,135,587
負債純資産合計	9,333,315	8,914,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,181,697	11,210,026
売上原価	8,474,914	9,166,100
売上総利益	1,706,782	2,043,925
売上利益調整		
繰延リース利益戻入額	—	1,780
繰延リース利益繰入額	—	184,998
売上利益調整額	—	△183,218
差引売上総利益	1,706,782	1,860,707
販売費及び一般管理費	1,554,173	1,503,617
営業利益	152,609	357,090
営業外収益		
受取利息	1,720	1,570
受取手数料	64,926	96,447
助成金収入	8,200	17,834
その他	4,649	10,853
営業外収益合計	79,497	126,706
営業外費用		
支払利息	10,685	9,730
その他	3,407	1,380
営業外費用合計	14,093	11,110
経常利益	218,012	472,685
特別利益		
固定資産売却益	946	436
特別利益合計	946	436
特別損失		
固定資産売却損	—	762
固定資産除却損	4,728	0
減損損失	7,766	—
解約違約金	7,950	—
特別損失合計	20,445	762
税金等調整前四半期純利益	198,513	472,360
法人税、住民税及び事業税	101,277	111,260
法人税等調整額	△9,954	19,134
法人税等合計	91,323	130,395
四半期純利益	107,190	341,964
親会社株主に帰属する四半期純利益	107,190	341,964

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	107,190	341,964
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	107,190	341,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	107,190	341,964
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	198,513	472,360
減価償却費	193,705	223,023
減損損失	7,766	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,350	1,350
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,552	△22,671
工事負担引当金の増減額 (△は減少)	—	△135,000
受取利息及び受取配当金	△1,720	△1,570
助成金収入	△8,200	△17,834
支払利息	10,685	9,730
固定資産除却損	4,728	0
売上債権の増減額 (△は増加)	238,805	△238,428
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,103	412,904
未収入金の増減額 (△は増加)	44,409	9,604
長期未収入金の増減額 (△は増加)	△35,448	280,239
仕入債務の増減額 (△は減少)	△246,438	1,959
未払金の増減額 (△は減少)	△117,880	△95,957
前受金の増減額 (△は減少)	△15,361	△7,308
預り金の増減額 (△は減少)	△2,116	△133,720
その他	162,013	56,029
小計	417,361	814,709
利息及び配当金の受取額	1,665	1,570
利息の支払額	△10,576	△9,967
助成金の受取額	8,200	17,834
和解金の受取額	2,138	1,419
店舗解約違約金の支払額	—	△4,200
法人税等の支払額	△56,373	△161,906
法人税等の還付額	68,192	81,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,608	741,365
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△114,782	△44,123
無形固定資産の取得による支出	△979	△16,500
貸付けによる支出	△294,470	△75,066
貸付金の回収による収入	320,800	397,211
事業譲受による支出	△26,656	—
差入保証金の差入による支出	△31,088	△40,677
差入保証金の解約による収入	50,241	24,320
その他	△1,512	△1,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,449	243,276

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	139,000	△400,000
長期借入れによる収入	580,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△382,303	△361,701
配当金の支払額	△42,651	△42,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	294,045	△354,030
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	626,203	630,611
現金及び現金同等物の期首残高	1,717,091	2,123,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,343,295	2,754,530

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	環境商材 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	6,837,045	3,046,384	298,267	10,181,697	—	10,181,697
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	6,229	415	6,645	(6,645)	—
計	6,837,045	3,052,614	298,682	10,188,342	(6,645)	10,181,697
セグメント利益 又は損失(△)	24,230	153,252	△24,874	152,609	—	152,609

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	モバイル 事業	オフィス サプライ 事業	環境商材 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,222,585	3,126,092	861,348	11,210,026	—	11,210,026
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4,696	3,339	8,035	(8,035)	—
計	7,222,585	3,130,788	864,687	11,218,061	(8,035)	11,210,026
セグメント利益	114,694	133,875	108,520	357,090	—	357,090

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。